

運營業務委託保護者説明会議事要旨

- 【日 時】 平成 28 年 8 月 5 日 19 時 30 分～21 時 30 分
【場 所】 津雲台留守家庭児童育成室
【出席者】 川下地域教育部部長、脇谷放課後子ども育成課長、植村同参事、
日比同主査、(書記)伴同主任
-

【吹田市より配布書類説明】

(保護者)

昨年も委託育成室の対象でしたが、今年も対象になっています。昨年は応募がなかったのですか？

(吹田市)

津雲台育成室には応募がありませんでした。(2か所のみ応募で残り3か所には応募はありませんでした。)ただし、興味を示している事業者はありました。

(保護者)

そうであるのにもかかわらず、今年も対象となっています。今年事業者が手を挙げる見込みはあるのですか。

(吹田市)

昨年度については、全体的にタイミング悪かったと考えます。

国の子ども・子育て支援新制度が完全実施された初年度であり、小規模保育事業等の新たな事業もありました。保育園・幼稚園の運営法人は、自分の施設の運営だけで精一杯でこの事業を検討する余裕がなかったのではないかと考えています。

それに比べて、平成 28 年度については小規模保育事業についても実施事業者が出揃ってきています。少し運営に余裕が出てきた事業者もあるものと考えています。

6か所すべて民間委託出来るかについては、不安なところもありますが、興味を示す事業者出てきており、何とか頑張っていきたいと考えています。

また、育成室の対象年限を拡大の為には、今以上に指導員を確保していく必要があり、育成室の一部を民間委託しなければ事業の継続も困難な状況が生じる場合があります

昨年度との変更点については、これまでは応募資格を市内に事業所を有することと限定的にしていましたが、未就学児の待機児童の諸課題があり、市内の事業者だけでは6か所の民間委託は厳しいと考えているため、応募資格を近隣他市を含むおおむね1時間以内に当該育成室に来ることができる事業者まで拡大する予定です。

(保護者)

津雲台育成室としてどのような対応していくかを保護者会で相談しました。その中で出された意見を少しお話しします。

昨年度の説明会等で、様々な民間への運營業務委託への疑問・不安の声が出ていました解消されたのですか？

民間委託計画のスケジュールが昨年度と変わってないように思いますが、この一年間、計画の実現に向けて、どの様な準備をしてきたのですか？

(吹田市)

民間委託計画のスケジュールについては、昨年度事業者からの応募が無かった、津雲台育成室を含む3か所については今年度も公募をします。

当初の計画では、平成29年度までに12か所の民間委託を行う予定でした。これであれば、今年度は9か所の公募を実施しなければなりません。現在の保育士や教員の、なり手不足等の状況を考慮し、より実現性の高い計画へと変更を行い、今年度は6か所の公募を行うこととしました。したがって、今年度は新たに、3か所(千里新田、佐井寺、千里たけみ)の育成室の公募を行います。

また、来年度から4年生までの年限延長を行う予定ですので、これまで以上に指導員の確保が必要となっています。そのためには、来年度から6か所の育成室の委託が必要と考えています。

しかしながら、保護者の皆様は民間委託に関して、様々な不安や心配な事があると思いますので、そういった不安等の解消のために説明会を実施しているところです。今回はお持ちしていませんが、今年度から委託を開始している育成室のアンケートの集計結果もお見せして、少しでも不安等の解消に努めたいと考えています。

(保護者)

指導員不足解消に向けては、何か努力をしているのですか。また、指導員の定着率の悪さが問題となっているのであれば、定着率の向上についてはどのような努力をしているのですか。さらに、民間でも保育士確保に苦労しているはずですが、本当に民間だからといって保育士を確保できるのですか。

(吹田市)

指導員の確保については、色々努力はしています。

今年度から始めたこととしては、各小学校に指導員募集のビラを貼り、指導員募集をより広く周知できるようにしました。これまでも各大学の就職担当部署に働きかけを行っていますが、その範囲を広げ、吹田市外の各地の大学にも行くようにしています。最近、吹田に新設された大和大学については、次年度はまだ卒業生はいませんが、今後に向けて、指導員確保の働きかけを行っています。他の指導員確保策として、指導員の資格条件をこれまでの保育士・教員免許取得者に加え、育成室等の児童福祉に関する施設で2年以上実務経験のある者も加えていく予定です。育成室でアルバイトしている者で、経験や人格等が優れていながら、資格がないため指導員になることができない者を採用していきたいと考えるためです。

指導員の定着率の悪さについては、業務が多忙である事に加えて、指導員には(主任などの)職階がないために、上司に相談するといったことができないため、(経験年数が少ない指導員に特によくあることですが)仕事を抱え込んで、一人で悩んでしまい、指導員を辞めてしまうことがあります。そういったことを無くすために、スーパーバイザー(SV)という、定年退職した公立保育園の元園長等で構成される、放課後子ども育成課配属の非常勤職員を置き、日常の保育のアドバイスや悩み事の相談のために、全ての育成室を巡回しています。今年度は民間委託した育成室の巡回を含めた体制強化のため、これまでの3名体制から4名体制に増員しています。

民間事業者による指導員確保については、直営育成室の指導員は地方公務員法等の法令等により、勤務時間などの制約がありますが、民間事業者では、午前中に委託事業者の保育園等で勤務をして、午後からは育成室で働くというフルタイムの職員を配置することもでき、また、直営育成室と同様に昼から働くパートタイムの職員を配置することもできます。そのような、その人にあった、バリエーションにとんだ採用をすることができます。また、保育園・幼稚園を長期にわたり運営することにより、これまでたくさんの保育士・

幼稚園教諭の雇用に関わっています。その中には、子育てを機会に退職された方もいます。そういった事業者独自の人脈を使うこともできるとも聞いています。

(保護者)

平成28年度に2育成室を民間委託したが、指導員不足に変化はないのではないですか。今回、また、委託先が決まらなかった場合の対策は考えているのですか。

(吹田市)

今年度の2育成室を含め3つの育成室を委託しただけでも指導員数は大分違います。今年度8月時点での指導員(非常勤職員)の不足は19名です。もし、育成室の委託をしていなければ少なくとも5名程度の指導員の不足が増えることとなりますので、育成室事業の運営はもっと厳しいものとなっていたと予想されます。

(保護者)

保護者がみんな不安に思っていることですが、昨年度は民間委託となることが不安で反対をしてきましたが、結局事業者が決まらずに拍子抜けとなってしまいました。保護者の中には、どうせ今年も決まらないであろうと思っている方もいます。昨年度は中途半端に終わってしまい、そのことも不安の要因となっています。今年度も同じような事にならないのですか。昨年度みたいな違う意味での取り越し苦労で終わらないのですか。

(吹田市)

保護者の皆様に不安にさせてしまい申し訳なく思っています。今年度は委託先が決まる様に頑張りたいと思っています。保護者の皆様がそのように受け入れの考えを示してもらえるのであれば、事業者も応募しやすくなると思います。

(保護者)

民間委託となるのであれば、やむを得ず受け入れなければならないと思っていますが、それなら、少しでも早く業者を決めて、引き継ぎに時間をかけてもらいたいです。委託事業者決定後の対応、事業者と保護者との話し合い等の時間について、どのように考えていますか。

(吹田市)

引き継ぎについては、山三・青山台の経験を踏まえて話をしていきたいと考えています。山三と青山台での経過を簡単に説明していきます。まず、12月に委託事業者が決定されました。(これは、翌年1月6日の間違いでした。)決定後、1月最初から事業者への育成室事業の説明、事業者による他の育成室の見学を行いました。2月からは保護者と事業者、市の担当で懇談会を行い、保育内容や行事の予定等の説明や、保護者の皆様の要望等をお聞きしました。

3月からは引き継ぎ保育を始めます。引き継ぎ保育では、実際に育成室で子ども達と関わる日を延べ10日間行うようにします。そのうち半分は主任指導員が入ることとしました。山三の主任指導員予定者は千里丘北で主任指導員をしていた経験があったが、青山台の事業者は初めてであることもあり、子どもとの関係づくりを重視するという観点から、独自に必要と思ひ延べ20日以上行いました。ただし、あまりたくさんの方が一度に多く行くと、子ども達が雰囲気の変化に戸惑うことも予想されたため、一度の人数の制限は行いました。また、3月は育成室の最後の締めくくりでもあるため、日にちについても、最後のイベント等の邪魔にならないように、予め、指導員間で調整を行いました。また、並行して3

月中旬からは個人懇談を実施して、保護者、児童、事業者の顔合わせや、アレルギーの有無等、必要な事項の聞き取りを実施しました。

新旧の指導員間では、書面を作成し、育成室での行事や下校コース、おやつの種類等の引継ぎを行ないました。

昨年度に関しては、年明けからの始動ということもあり、スケジュール的に少し無理があったかなと思うところもありますので、今年度は事業者の選定を少しでも早めていき、引継ぎを開始していきたいと考えています。事業者におまかせということはありません。子ども達との関係づくりの様子を実際にその場にいる等して、安心して4月を迎えることができるように責任を持っていきたいと考えています。

(保護者)

引き継ぎに関してですが、2月の保護者との懇談会は、新事業者、市と保護者との間で行われるのですか。

(吹田市)

そのとおりです。

(保護者)

青山台の事業者は引き継ぎに熱心に取り組んでいるのはわかりますが、それはあくまでも事業者の意向であると思います。今年度、津雲台が委託になった場合は、青山台レベルの引き継ぎはしてくれるのですか。それとも、他と同じように10日間なのですか。

(吹田市)

市としては委託料との兼ね合いもあり、10日間以上としています。10日間引継ぎを行なえばよいのではなく、4月から安定したスタートが送れるように、しっかりと引き継ぎを行ってください(子どもとの関係づくりをしっかりとってください。)としています。そのために、期間として延べ10日間以上は行ってくださいという内容の仕様書になっています。この点について、市の責任として、不安な点や疑問な点があれば、事業者に対して、期間を増やしてもっとしっかりと行ってください等の指示を行います。

(保護者)

保護者会でも引き継ぎに不安な声が多く上がっています。必要であればというのが、あやふやで心配です。配慮を要する児童として申請しており、新しい環境が苦手という児童も含まれていますので、必要があればというところが不安です。

青山台の事業者が延べ20日間以上できたのなら、他にも同様対応を仕様書に定めることはできないのですか。

(吹田市)

何日以上とは決めずに、子どもとの関係づくりをしっかりと行う期間であるという意識を持つことが大切であると思います。委託事業者にとって、4月から安定した保育を始めるということは最も大切なことの一つであり、同時に大変難しいことでもあります。市の担当としても、事業者に過去の状況を伝えながら、事業者と話し合っていきたいと思えます。特に配慮を要する児童への対応には時間をかける必要があると伝えていきたいと思えます。

(保護者)

ルール化はできないのですか。前向きに考えることはできないのですか。

(吹田市)

今以上の引き継ぎ保育については、事業者負担となります。あまり事業者に負担を強いるようなものでは、市としてもあまり口が出せなくなってしまいます。現在のような形が、市として「お金も出すが口も出します。」としていいのではないかと考えます。

(保護者)

2月の懇談会が新事業者と保護者との話し合いになるのですか。

(吹田市)

2月と決まった訳ではありません。事前に日程の調整をして、新事業者と保護者との懇談会を持つということです。事業者が選定されれば、できるだけ早期に準備を行い、少しでも早く懇談会の場を持つようにしていきます。

(保護者)

仕様書には細かい指示が書けないという説明があったと思いますが、特記仕様書を作成し、それを提示することにより、それぞれの学級に合わせた仕様書ができるのではないですか。

(吹田市)

仕様書については、配置する人員に資格条件を記載する等、詳細な指定を行うと、法令等により偽装請負と判断される場合があります。したがって、昨年度の仕様書は既に委託の仕様書としては、かなり細かいものとなっています。

詳細等は、事前の懇談会等で紳士協定として、保護者・事業者・市による打合せの中で確認し合うこととなります。

また、今回、全ての育成室に育成室の利用に関するアンケートをとる予定です。保護者の皆様にはそのアンケートに、要望等を記載していただきたいです。事業者が決まれば、それも伝えていくようにします。

(保護者)

アンケートに記載のあった津雲台育成室の要望を事業者に伝えるのですか。それは、事業所が決まってから言うのですか。事業者に伝えた後に、選定に入るのですか。

(吹田市)

伝える必要がある所は伝えるようにしますが、基本的には委託事業者が決まってからとなります。

(保護者)

本年度に2育成室が民間委託されています。問題点はありますか。改善すべき点はありますか。

(吹田市)

山三・青山台にも対しても、前年度に千里丘北で行ったようなアンケートを取る予定をしています。山三や青山台は、初めて直営から民間委託となった育成室なので千里丘北とは違うと回答があるのではないかと考えています。それによって、広く保護者の皆様から問題点について聞いていきたいと思っています。

山三・青山台の4月からの状況については、年度当初は毎日のように現場視察をしてきました。特に、春休みは本庁には戻らず、どこかの民間委託の育成室にいるようにしていました。

このうち、青山台については、今年度は事業者として初めてスタートしたこともあり、自分たちにノウハウが備われば、自分達独自のものも考えていこうと思っており、基本的には、昨年度と同じ運営を継承していきました。問題点として、特に大きなものとして指摘された訳ではありませんが、自由な時間が多く集団で遊ぶことが少ない。と指摘を受けたことはあります。その点については、事業者に伝え話をしています。

山三については、事業者が千里丘北と同じ事業者であり、前年度の主任指導員が山三の配属となったため、4月から直接、何か指摘を受けたことはありません。改善点として上げるのであれば、委託開始前の懇談会において、連絡帳の使い方について話し合いを行いました。事業者としては、少しでも子ども達との関わりを多くするために、怪我や病気等必要があればしっかりと記載はするが、何もない場合は記入は行わないと考えていました。しかしながら、保護者から、それでは連絡帳を見たのか見ていないのか判断できないという声があったため、連絡帳については、何もない場合でもサインやハンコの押印はすることとしました。

(保護者)

連絡帳の利用についてですが、千里丘北・山三ではあまり書かないと聞いています。自分の子どもが、どのように育成室で過ごしているのかがわかりません。現在はどんな様子だったかを書いてもらっています。書いてもらいたいというような要望は聞いてもらえるのですか

(吹田市)

保護者の皆様とは委託開始までに、個人懇談も行っていきたいと考えています。仮に、全体的な流れとして、連絡帳の扱いが現在の山三のように決まっても、配慮の必要な児童の場合であるとか、その他、必要があると判断できる場合は、連絡帳の記入がいると思います。

山三の場合は、子ども達と直接関わる時間を少しでも増やしたいという意図で行っているものです。楽をしたいために行ったものではありません。そういった要望についてはお話ししたいと思っています。

(保護者)

山三のことはよくわかりませんが、青山台が直営から民間委託になった時に数名がやめたと聞きましたが本当ですか。

(吹田市)

民間委託が不安であり、一貫して強く反対をされていた保護者が1名、入室を取り止めたことはあります。この件に関しては、残念な結果であると考えており、その児童は小学校には在籍しているので、何とか育成室に入室してもらえれば有難いと考えています。

(保護者)

その方に対して、何かフォローはされたのですか。民間に変わるということに伴って不安があるということに対して、何かフォローはしたのですか。

(吹田市)

その方に対しては課長が個別に電話をし、「これなら大丈夫と感じてもらうことができれば、いつでも入室して下さい」と伝えてあります。

(保護者)

山三にはそんなことはなかったのですか。

(吹田市)

山三については、そのようなことはありませんでした。

(保護者)

民間委託育成室の保護者と津雲台育成室保護者との面談の時間を設けてほしいのですが。

(吹田市)

市として、民間委託をしている育成室の保護者に要請することは難しいです。保護者同士、任意で行うのであれば問題はありません。市として、委託育成室の保護者の声については、アンケートを参考にしてもらいたいと考えています。

(保護者)

委託候補事業者と保護者とが委託事業者が決定する前に事前に面談できないのですか。

(吹田市)

事業者との懇談は事業者選定の後でお願いします。

(保護者)

事業者の公募選定について、平成 28 年 10 月～12 月の間と書かれていますが、最長で 12 月何日までですか。12 月 31 日までですか。それまでに応募がなければ、次年度の民間委託はないのですか。

(吹田市)

公募期間については、11 月の中旬ぐらいまでになると考えています。この公募期間終了時点で、応募があったかどうかは伝えるようにします。ただし、どこの事業者かをお知らせすることはできません。

(保護者)

応募状況の説明はあるのですか。例えば、いくつの事業者から応募があったとか。ただ、この時点で、民間委託が決定した訳ではないのですね。

(吹田市)

そのとおりです。公募期間終了時には、速報のようなものとして、応募状況をお知らせします。その後、事業者選定委員会を行い、基準をクリアした事業者の中から、市が委託事業者と選定していきます。複数事業者の公募があれば、より優秀な事業者を選んでいきます。

(保護者)

公募期間終了時に 6～7 事業者の応募があっても、確実に民間委託になるということではではないのですよね。

(吹田市)

その通りです。

先ず、応募は育成室ごとに行いますので、6 事業者がどの育成室に応募してくるかによって状況は異なります。また、事業者の応募があった育成室でも、選定委員会において、市が任すことはできないと判断する場合は、民間委託とはなりません。

(保護者)

事業者が決定するのは、いつ頃になるのでしょうか。

(吹田市)

早い場合で、12月中旬から下旬頃になると考えています。審査等には一定の時間がかかるので、これくらいの時期になると考えています。

(保護者)

年を超えることはありますか。

(吹田市)

基本的には年内には選定していきたいと考えています。

(保護者)

決定時期が気になります。本来ならば、次年度の一斉受付が始まる時期には決まっているべきではありませんか。「こういう事情で民間委託となりましたので、事業者はこういった保育をします。」それを見てもらい、次年度の申し込みをしてください。ではないのですか。

「今は何も決まっていません。」「どういう保育をするかわかりません。」ではいけないのであって、昨年度はそういった中で次年度申請であったので、そのため、今年度は12月の何日になるのですかという話があったと思うのです。事業者の選定をもっと早くできないのですか。

(吹田市)

民間委託で運営を行うための予算措置をしたり、事業者の選定にはどうしても時間がかかります。また、次年度申請の一斉受付の時期が（保育園や幼稚園の次年度申請の時期との関係もあり）早くなってきました。これが、良いタイミングになっていないとは思っていますが、やむを得ないところがあります。

(保護者)

昨年度もそうでしたが、保護者会は次年度を見据えて12月末から動かないといけません。

民間委託となるかどうかによって、次年度の動きが全く変わってきます。1月中には次年度の保護者会役員に保護者会で実施する行事の委員等を決めないといけません。それを踏まえて役員は色々とどうしていくかということを考えていかななくてはならないのです。

昨年度と同じことを、今年度もしなくてはいけないので、もう少し早くしてもらいたいです。そうでなければ、来年度どのようにしていけば良いのかが、我々はわかりません。

また、手が上がらないかもしれないし、手が上がって決まれば、すぐにこういう事に注保護者会として次年度の動きを12月中には決めて行きたいのですが、何とかならないのですか。

(吹田市)

しっかりとした事業者選定を行うためには、ある程度の時間が必要となります。どうかご理解していただきたいと思います。

(保護者)

保護者会はどうなるのですか。保護者会の年間行事をどのように組み立てていくのかが、民間委託になるのとならないのでは、全く変わってきます。民間委託された場合に、今まで直営で子どもたちがやってきた行事を事業者は受け入れてくれるのですか。

千里丘北のアンケートを見ていると「他の学級との交流があってもいいのではないか」であるとか「運動会をして欲しい。」とかの意見も出ています。そういう今までやってきたことは本当にできるのですか。それによって保護者会として動かなくてはいけなくなります。

(吹田市)

山三の保護者会は山三の形で、青山台の保護者会は青山台の形で、違う対応になりました。

吹田市としては保護者会で子どものためにイベントを開催することや、保護者同志で親睦を図るために話し合いを持つことに対しては、直営でも委託でも問題はありません。会議を行うためや、活動の場所として育成室を貸し出すような支援は行っていきます。

ただし、あくまでも保護者会は任意のもので、それに加わるかどうかということは保護者自身の判断で行うものと考えます。また、事業者に対しても強制はできません。事業者や指導員の任意の判断によるものと考えます。保護者会がこれまでやってきたことをどのようにしていくかについては、保護者の皆様や、事業者、指導員の考えによって変わることはあると思います。

(保護者)

そういったことはわかっているつもりです。それを含めて時期が早くならないのか聞いているのです。それがわかると我々も動きやすいし、次の事も考えやすくなるのです。

(吹田市)

公募状況については、つぶさにお伝えさせていただきます。ご理解いただきたいと思えます。

(保護者)

今、話をしているような期間等について、来年度に向けて、昨年度の仕様書は変更するのですか。

(吹田市)

仕様書については、昨年度から大きく変更する予定はありません。

(保護者)

公募が10月からということですが、10月から始めるのではなくて、吹田市としては「6か所の育成室を委託したい。」「仕様の変更はない。」「公募申請書類も変わらない。」ならば、なぜ期間を早めることができないのですか。

(吹田市)

市の事業として決定するためには、9月の市議会での承認が必要となってきます。

市議会の承認が無ければ、公募しようと思っても予算の裏付けがないため、公募期間等の設定をすることができません。

(保護者)

10月に公募がスタートということですよ。ならば、10月中に公募締切してもいいのではないかと思うのですが。書類等の変更がなく、予め委託候補である6か所の育成室がわかっているのですから、11月ま公募期間を延ばす必要がないのではと思いますが。

(吹田市)

今回は公募期間が短かったので、募集が少なかったということがあります。したがって、今回はこれくらいの期間が必要と考えています。

(保護者)

今回は、初めての公募であったので、長い期間が必要だったのではないですか。

(吹田市)

さらに去年は公募期間を延長する必要がありました。

(保護者)

応募が無かったからではないのですか。

(吹田市)

募集期間ギリギリになってから問い合わせがあったので、手を挙げてもらえるように延長をしました。

(保護者)

募集期間の長短ではなく、ただ単に期限ギリギリまで考えていただけではないのですか。それならば、期限が短くてもいいのではないのですか。

(吹田市)

今回は、ギリギリまで迷っていた事業者もあったので公募期間の延長を行いました。そういったことを踏まえると、期間を長くすることは、事業者が手を上げやすくするものと考えます。

(保護者)

書類は去年と何も変わっていないのなら、ましてや山三と青山台が委託できたことで、それなりに書類の内容だとか審査内容などわかっていると思いますが、それでも、そこまで延ばす必要があるのですか。

(吹田市)

今年度は市内事業者だけでなく一定の範囲内の市外事業者へも対象範囲を拡げていますので、周知期間を含めて募集期間を考えていかないといけないと考えています。

(保護者)

議会の承認がいるのはわかります。しかし、議会の承認が終わってから市外の事業者に声をかけるわけでもないですね。めぼしい事業者には事前に声をかけているはずではないのですか。「こういう事をしますので、よかったですら手を上げてくださいね。」そのように事業者に声をかけているのではないのですか。

(吹田市)

民間委託を行うことのPRは行っています。しかしながら、手を上げるかどうかについては聞いていません。また、手を上げるつもりがあったとしても、当然ではありますが、相手方にもそれ相応の準備のための期間が必要となってきます。

(保護者)

そういう事情のことはわかったうえで聞いています。

決められた締め切りに対して、それに合わせるのが事業者ではないのでしょうか。委託を受けようと思った事業者が問い合わせをするのです。昨年、期限のギリギリに問い合わせがあったみたいですが、それは、締め切り間近だったからではないのですか。

応募の数が少なかったから、吹田市が色々な事業者に期間ギリギリまでお願いしていたからだと思います。だからギリギリになって事業者からの問い合わせがあったのだと思います。

今年は内容も変わらないし、市の事業者はわかっているのであれば、締め切りを10月末にならないのですか。それは不可能なのですか。

(吹田市)

同じようなタイミングで我々だけではなく、他の民間委託の公募が予定されています。それらを見極めることも必要と考えています。

(保護者)

それならば、なおさら先に手を打たないと他の市にとられるのではないのですか。

(吹田市)

学童保育以外にも、色々と委託を予定している事業があり、そのなかで事業者には検討をお願いしています。検討のために期間を少し長めに設ける方が事業者がより手を上げやすくなると考えています。

(保護者)

実際のところ、昨年公募の事業者が少ないため、公募期間の延長をしている訳ですよ。市としては来年度に向けて事業者をお願いには行っていないのですか。

(吹田市)

昨年に声があった事業者を中心にPRは行っています。

(保護者)

今年の6育成室について、委託事業者が決まると思っていますか。公募期間を延ばしたからといって数が増えるとは思えません。1年ぐらいで状況が変化するとは思えません。

(吹田市)

一連の話し合いの中で、事業者の決定を早くして欲しいという要望については、我々もよく理解できました。

保護者会のご都合、来年度に向けての準備もあることは我々も重々承知しているつもりです。今回、色々なお話を聞かせてもらい、改めてわかったところもあるかと思っています。

こういったことについては、一旦、持ち帰り再検討してみたいと思います。ご指摘いただいたことがどこまで変わるかわかりませんが、ご要望として持ち帰らせていただきたいと思っています。

(保護者)

青山台は年明けからのスタートであったので、あわただしかったと聞いています。したがって、余計に早くした方が良いのではないかと思います。

(吹田市)

そういったご意見をお持ちであるということは、我々は重々承知しています。

改めて大事にしていけないといけないことと認識しています。どのようになるかはわかりませんが、持ち帰らせていただきたいと思います。

(吹田市)

様々なご意見を聞かせていただきました。我々と保護者の皆様の向いている方向は同じであると思います。

我々も今よりも保育の質を落とさずに、より良い保育ができるように委託を進めていきたいと考えています。年限延長をすることも考えると、なお更必要と考えます。

本日の説明会で、保護者の皆様が子どものことを本当に真剣に考えていること、少しでも良い保育を望んでいるということがよくわかりました。そのことについては、市の担当者も思いは同じです。その思いを叶えるために、我々は最大限の努力はします。このことは約束します。

公募の件についてですが、市議会は5・9・12・3月に行われます。本件が議会の承認なしには進めることができないことは、先ほど説明したとおりです。

仮に5月議会に提出するのであれば、手続き上、4月の年度当初に予算額等を決めないとなりません。引き継ぎが終わって間もなしに、新しい事業者に指導していかないといけない時期に、同時にこのことも決めないといけないとなると、市役所の内部事情ではありますが、極めて困難であると思います。9月議会に承認をもらうべく準備を行っているという訳です。したがって、公募期間については、現在予定しているくらいは必要と考えていますが、今回、皆様の要望もお聞きしましたので検討は行っていきます。

また、アンケートに関しても活用しない手はないと思っています。負担をおかけしたので、使い道を間違っただけだと思っています。このアンケートに関しても、保護者の皆様と同じ方向を向いていると感じています。アンケートを利用し、事業者に対して「津雲台育成室の保護者の皆様はこういうことを望まれています。」と伝えていくようにします。言い方が悪いかもしれませんが、皆様は常識的な態度でしっかりと子ども達の方を向いておられます。我々対しても、無理な要求はされていません。アンケートでは、事業者が「もっともだな」と思う意見が出てくるのではないかとと思っています。色々な要望は伝えていただきたいと思います。

2回目の説明会では、考え方をもっと整理した上で、皆様の理解を得たいと思っています。保護者の皆様と信頼関係を築きたいということは、分かっていたきたいと思います。

(保護者)

民間委託委員として何度かお電話させていただいています。課長が忙しいのはわかっています。ただ、他の部下の方が電話に出た際に、その方がよくわかっていません。全員は知らないと言います。「民間委託の説明会があるのですか？」や「誰が説明会に行くのかもわからない。」と言います。課長が忙しいことも伺っています。内容がわかる人に電話に出てきてほしいです。真摯に受け止めてもらいたいです。本当は民間委託なんて嫌なのです。信頼関係を築きたいと思っているのに、子どもたちのために寄り添うようにしていこうとしているのに、部下の方が全然わかっていません。

何か隠している様にしか思えません。信頼関係を築きたいとか言っておきながら、何もわかっていません。馬鹿にしたような態度をとられます。絶対知っているだろうに「知りません。」「わかりません。」

全体的には去年と同じような感じがします。公募は議会が終わってからというように同じスケジュールで進んでいくような感じですか。

引き継ぎにしても、子どもたちが嫌な思いをするのではないかとと思っています。だから声が大きくなるのです。

課員の方には全員にわかっていてほしいです。課長の忙しさだけは伝わってきましたが、「民間委託やろ!」「そなんん知らんよ!」みたいな言い方をされると腹立たしいです。何が信頼関係なんだと思います。

昨年より民間委託の育成室が増えていますよね。悩んでいる。嫌な思いをしている保護者もたくさんいると思います。もう少し丁寧な対応をしてほしいと思っています。

(吹田市)

それは本当に申し訳ないです。上司として謝ります。

慎重になってしまい、担当でなかったのもそのような対応になってしまったと思いますが、明日から対応を変えさせます。指摘を受けて一番課長がこたえているはずですので。お約束します。申し訳ございませんでした。

(保護者)

課長には昨年も来ていただいています。津雲台の今年の雰囲気は違うと感じていると思います。それを踏まえて言うのですが。

先ほど、保護者会が協力するという形でいけば、事業者がつきやすくなりますって言われていましたよね。それがどういう意味なのかを教えてください。もう一つは、話の中で畳が傷んでいるという話がありましたが、子どもたちはこの畳の上で昼寝をしているのです。夏休みの毎日の生活をこの畳で行っているのです。配布資料の予定では事業者が決まり、引き継ぎがあって同時に設備の補修に入るとされています。事業者が決まらなければ、畳はこのままなのですか。

(吹田市)

そういうことではございません。修繕については必要に応じて行っていますが、児童数が急に増えた育成室の施設整備に修繕料を使う必要があり、限られた予算では日ごろの育成室の補修とか修繕に手が回っていない状況です。非常に申し訳ないと思います。

畳についても、委託するまで直さないというのではなく、緊急性の高い方から修繕していこうと思っています。申し訳ありません。

保護者の協力についてですが、本件の委託料として支払うことができる金額は、社会福祉法人・学校法人としては、ほとんど利益を生むようなものとなっていません。本当に社会貢献という事だけで委託を受けている状況です。その中であって、昨年度、反対の状況を見た事業者の腰が引けてしまうということがあったということです。

納得はされていないこともあると思いますが、今年は少し理解していただいていると考えています。

(保護者)

保護者からの不安のなかで、民間委託になった時に1人の主任指導員以外は、日替わりになるのではないかという話があります。実際、今年度民間委託している育成室ではどれぐらい決まった指導員が配置されているのですか。

(吹田市)

青山台は常に5名体制です。常時勤務している者が2名おり、残り3人枠を4名程度で回しています。(現在は、学級をさらに落ち着かせるようにと6名配置しています。)施設長が保育士免許を持っている。それ以外にも、複数名の教員または保育士資格をする者がいます。また、社会福祉士もおり、介護の資格を有する者や無資格者も複数名います。

山三も5名体制です。5名とも同じ者です。休みがある場合は千里丘北や事業所の保育園から代替えが来ています。

(保護者)

それは固定化されているということですか。

(吹田市)

そうです。固定させた方がいいという考えは、事業者も持っています。こういった形で保育を行うことが望ましいのかについては、しっかりと考えを持っています。結果として人員配置に表れていると思っています。

(保護者)

それはルールとして明文化されているのではなくて、望ましい努力目標ですよ。確かにこころごとと指導員が変わり、子どもの名前もわからない状態で保育は難しい、厳しいと思います。あまりそのような状態で保育をしてほしくはありません。

(吹田市)

人員の固定化については、明文化されていない努力目標ではないかというご指摘は、その通りだと思います。ただ、その一方で今の保育水準は保たなくてはならないと仕様書で定めています。指導員が日替わりになれば、保育が雑になると思います。そうすると、保育水準を保つということの仕様書に反することとなります。事業者もその点はしっかり考えられていると思います。

(保護者)

民間委託になった場合に、事業者の指導員と子どもとの関係がうまく築けなくて、学童をやめたいとなった場合にフォローは市でやってくれるのですか。それとも親が事業者と話し合いをしないといけないのですか。

(吹田市)

そのように、子ども達と指導員の関係が上手くいかないことは、常に起こる可能性があると考えています。

これまでもそのようなことがたくさんありました。そのようなことを少しでも減らすことができるように、話にも出てきている保育園の園長先生経験者のSVが巡回し、保育の内容を見ていくようにしています。市が状況把握し、しっかり対応していきます。

(保護者)

今日の説明会は急に決まったので、先週の臨時保護者会や本日の説明会に、来たくても来られなかった保護者もいます。できれば津雲台だけで2回目の説明会をしてほしいです。

去年の経験上、合同になると押し問答になってしまい、長くなってしまふ。子ども達の方を向いて話し合いがしたいと思っています。

(吹田市)

今日に限ったことでなく、今日で終わるというわけではありません。各育成室で1回目説明会が終わるのが8月19日になっています。そこでいただいた意見も皆様に返さないといけません。新たな説明会の日程調整を後日、担当の方とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

課員の対応が不適切であったことは本当に申し訳ございません。お詫びいたします。本当に申し訳ございませんでした。

(吹田市)

21:30を回っていますので、本日の説明会を終わらせていただきます。

この事業をきちんとやっていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。
ありがとうございました。